

“クラウドファースト”時代到来

ものづくりITを加速させる Amazon Web Servicesのご紹介

2013年8月2日

アマゾン データ サービス ジャパン 株式会社

ソリューションアーキテクト

松尾康博

matsuoy@amazon.co.jp



自己紹介

名前

- 松尾 康博

所属

- アマゾンデータサービスジャパン株式会社
- ソリューションアーキテクト
- matsuoy@amazon.co.jp



経歴等

- 2001 九州大学 共用スパコン用ジョブスケジューラアルゴリズム
- 2006 独立系Sier (基幹システム向け分散ミドルウェアの開発・導入)
- 2009 Webベンチャー(CTO)
- 2011 仮想化研究・調査・構築・運用
- 現職 EC, HPC, ビッグデータ, Webサービス関連の案件を支援

本日のお話



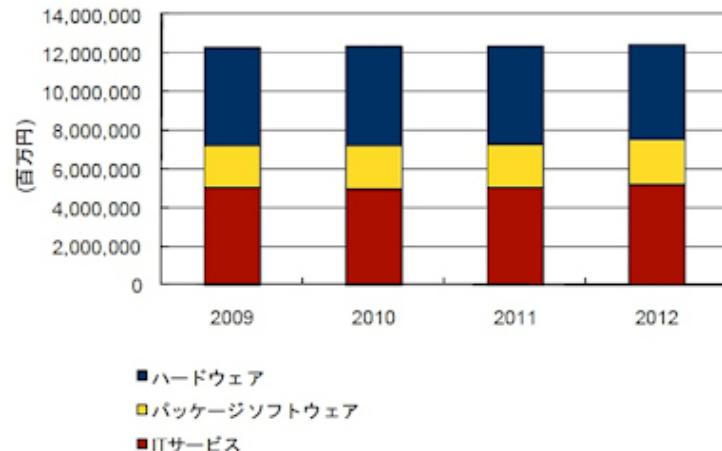
- なぜクラウドが注目されているか？
- SIにとってのクラウド市場
- Why AWS?
- AWSクラウドが変革するもの
- お客様事例のご紹介
- NEXT STEP?

なぜクラウドが
注目されているか？

国内マーケットトレンド

<参考資料>

国内IT市場 投資額予測：2009年～2012年



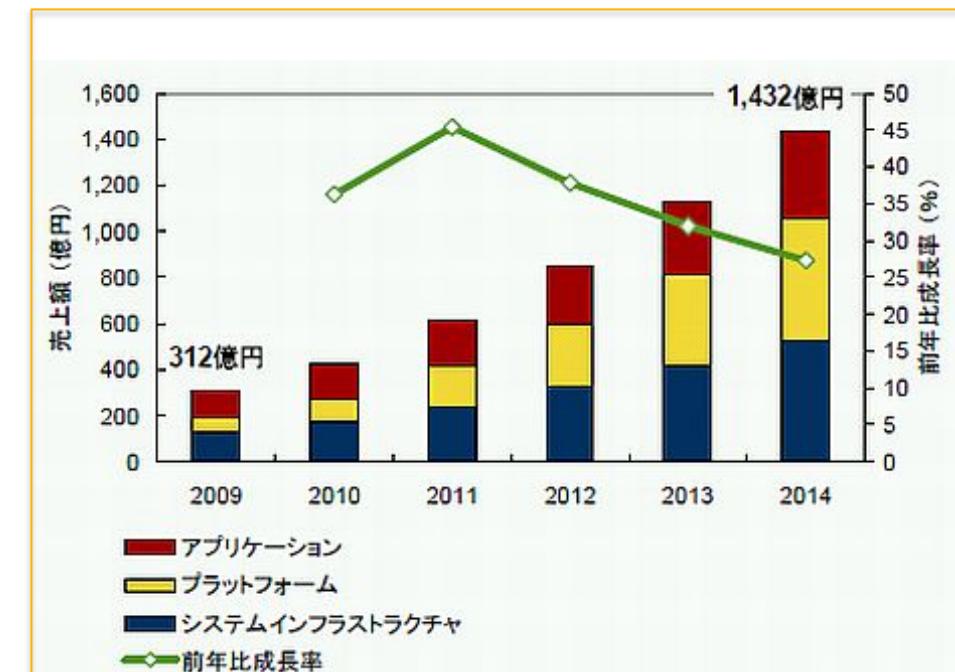
Note: 2009年は実績値、2010年以降は予測

Source: IDC Japan, 7/2010

クラウドビジネスは
右肩上がり



IT投資は横ばい



“クラウドファースト”時代の到来



日経コンピュータ 2013年 1/24号 「クラウドファーストが常識に – ユーザ企業 100社の選択」

下記企業様のAWS導入事例が掲載

- ・ケンコーモム様 (SAP on AWS)
- ・UMCエレクトロニクス様 (SAP on AWS)
- ・ガリバーインターナショナル様
- ・あきんどスシロー様
- ・ミサワホーム様
- ・東急ハンズ様
- ・電通様
- ・シャープ様
- ・マネックス証券様
- …etc

AWS Summit 2013

- 世界12都市で行われるAWSのグローバルイベント
- 参加者 7000人
- 2万以上の顧客の中から、多くの企業様がご登壇

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">東京海上日動火災保険様日本経済新聞社様東芝様ニコン様トヨタメディアサービス様その他多くの企業様がご登壇 | <ul style="list-style-type: none">日本テレビ放送網様協和発酵キリン様東急ハンズ様ミサワホーム様SAP様 |
|--|--|



AWS Summit Tokyo 2013
～クラウドの「今」へご招待～

2013年 6月5日(水)～6日(木)
7 来場無料(要事前申し込み)
会場: グランドプリンスホテル新高輪

**“合理的な理由”により、
顧客からの
“クラウド指定”
が増加**

既に多くの日本企業でも AWSクラウドを導入



現在のものづくりITにおける課題

初期費用が膨大



高価なIT関連製品やサービス



実際に利用しない資産にもコストが発生



新しい環境の構築は、時間がかかる

スケールアップが難しく、スケールダウンは不可能



ビジネス拡大ではなく、稼働することが目的になりがち



クラウドコンピューティングに求められる特性

初期投資が不要



低額な変動価格



実際の使用分
のみ支払い



セルフサービス可能
なインフラ



スケールアップ、
ダウンが容易



新サービス・製品を
より速く市場へ



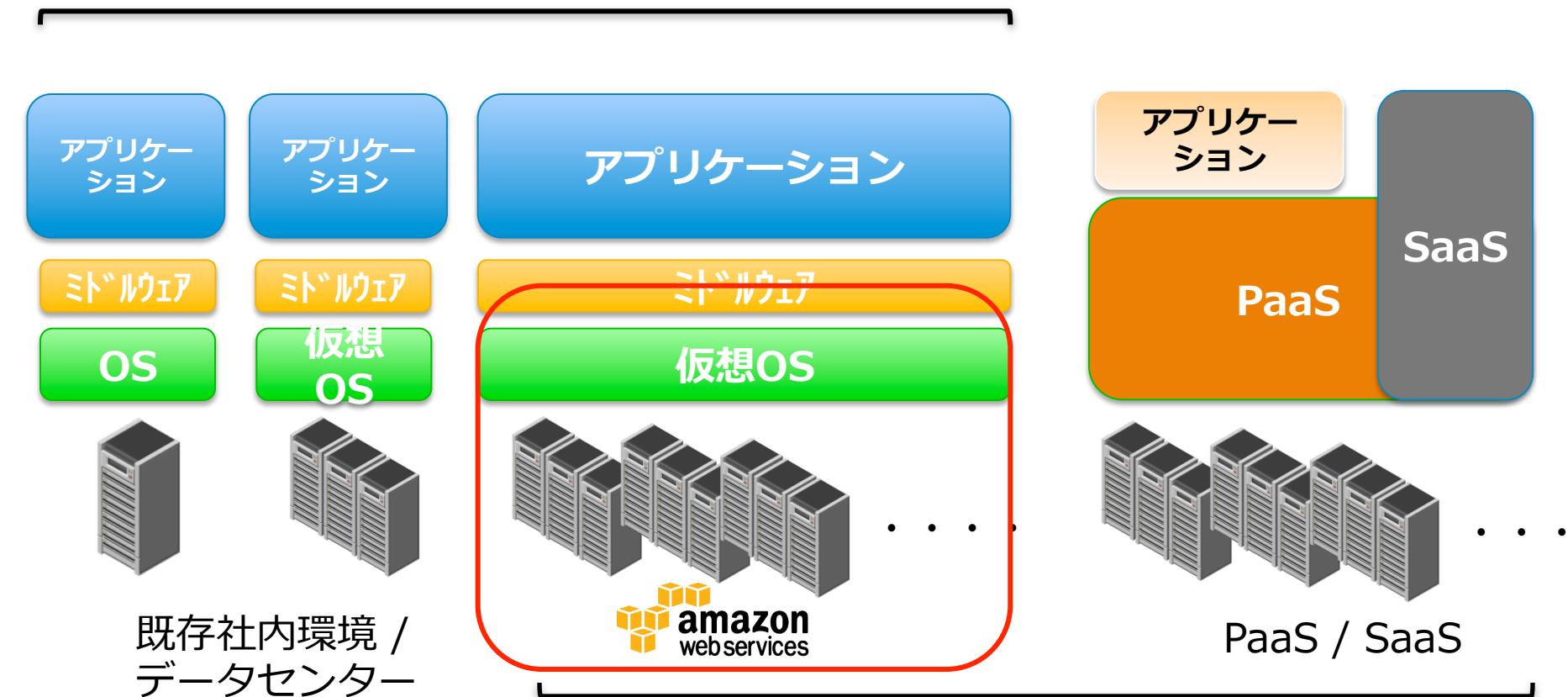
クラウド ≠ サーバ仮想化

	クラウド コンピューティング	オンプレミスの 仮想化
初期投資が不要	✓	✗
低額な変動価格	✓	✗
実際の使用分のみ支払い	✓	✗
セルフサービス可能なインフラ	✓	?
スケールアップ、ダウンが容易	✓	✗
新製品/サービスをより速く提供	✓	✗

SI・ISVにとっての クラウド市場

クラウドベンダー内でのAWSのポジション

技術・ビジネスの親和性

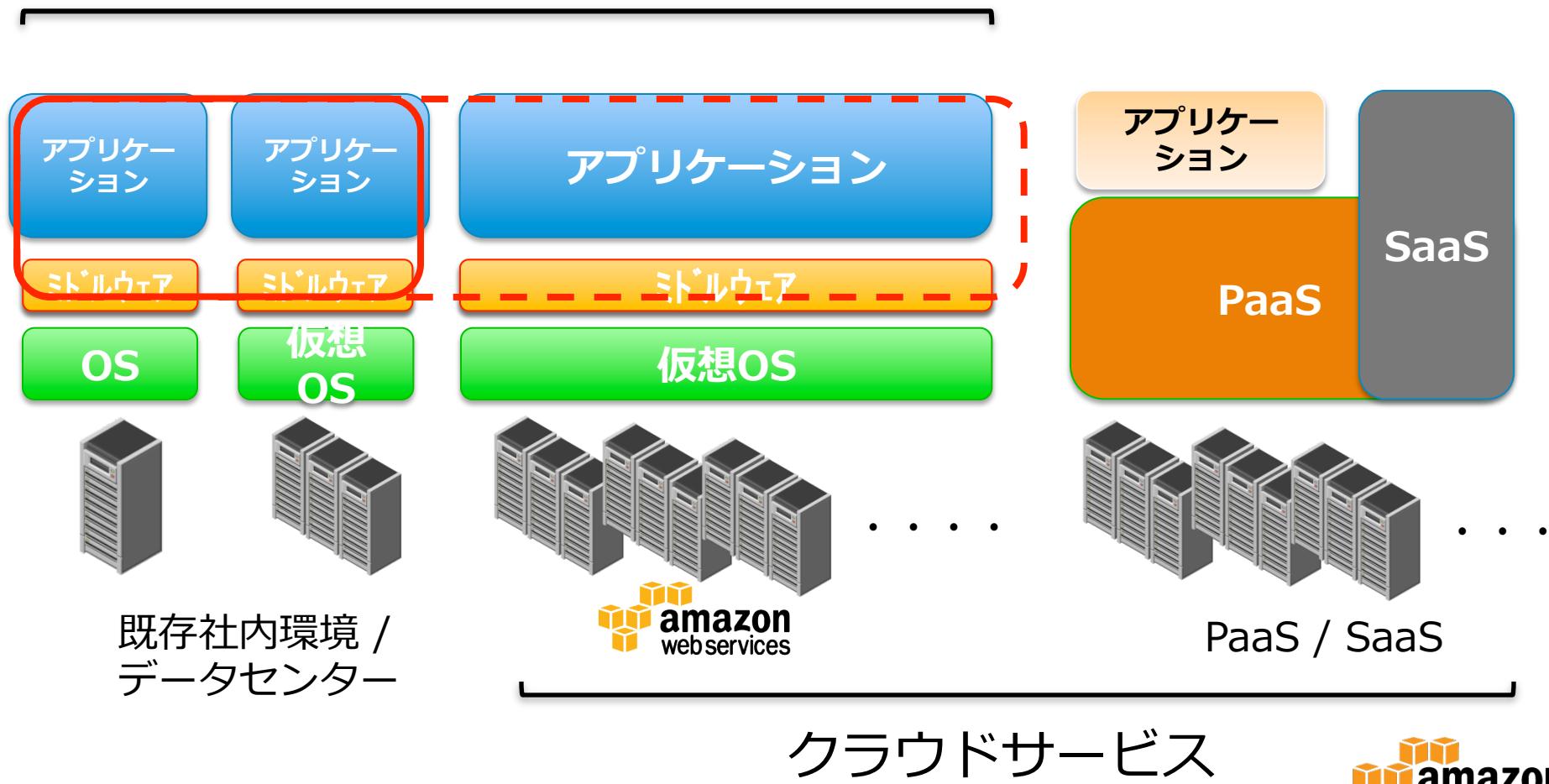


クラウドサービス



AWSクラウド（IaaS型）であれば、既存SI・ISVビジネスをクラウド上に容易に拡大

技術・ビジネスの親和性

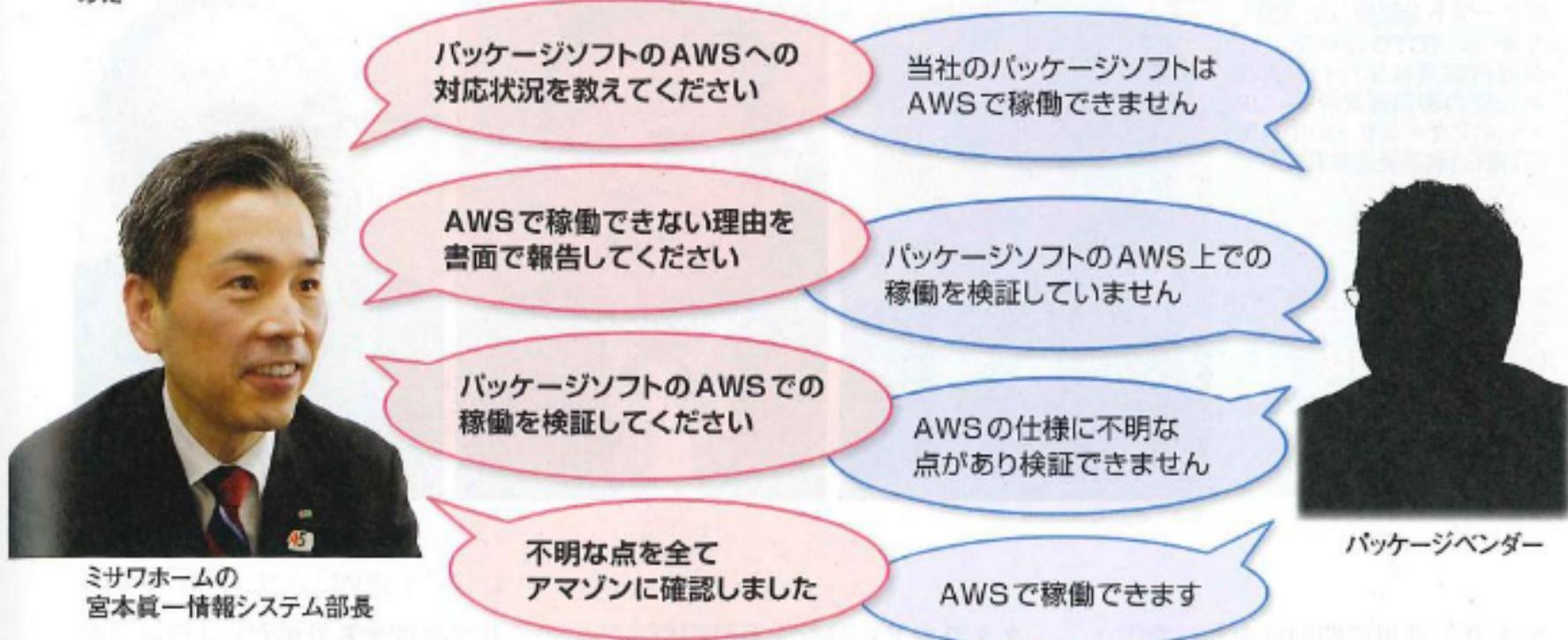


**ビジネスの拡大には、
クラウド上のSI
(クラウド・インテグレーション)
が不可欠**

ご参考：AWS導入をめぐる 顧客企業様とベンダー様のやり取り

図2②パッケージベンダーにAWSへの対応を要請したミサワホーム

検証せずに「Amazon Web Services (AWS) で稼働できない」と主張していたパッケージベンダーに対して、AWS上での稼働検証を求めた



本当は「出来ない」ではなく、
「知らない」が理由だった

日経コンピュータ 2013/1/24号
Page 31 より

**ビジネスの拡大には、
クラウドでのISV対応
(パッケージ・ミドルウェア) が
不可欠**

アマゾン ウェブ サービス (AWS)とは？

アマゾンの3つのビジネス

一般消費者様
向けサービス



Eコマース
(Amazon.co.jp)



セラー様向け
サービス



マーケットプレイス
物流サービス提供
(Amazon Services)



企業様向け
サービス



クラウド
コンピューティング
(Amazon Web Services)

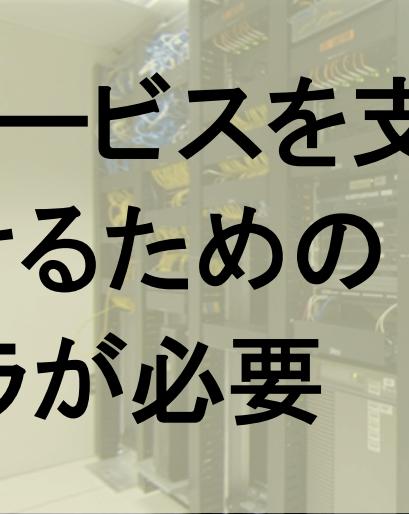


なぜアマゾンは...



...クラウドに参入したのか？





世界規模のサービスを支え
拡大し続けるための
ITインフラが必要

大規模ITインフラ

- 世界各地のデータセンター
- 膨大な量のコンピューター
- 堅牢なストレージ
- 運用技術



2006年

Amazon Web Services(AWS)を発表
AmazonのITインフラをサービスに！



拡大する日本のパートナーエコシステム

システムインテグレーター



NTT DATA

SCSK



iSiD

IT Solution Innovator

会社 東京データネットワーク

knowledge Communication



CTC
Challenging Tomorrow's Changes

JBAT

JBS

UNISYS

ICT Service Business in Japan



野村総合研究所
Nomura Research Institute

Virtual Communications
Corporation



Hitachi Solutions



ISV



Adobe
To be open to change

AvePoint®
Your SharePoint. Our Innovation.



íñformatix

1ST WingArc UCHIDA SPECTRUM



EnterpriseDB®
The Enterprise PostgreSQL Company

Canon
キヤノンソフトウェア株式会社

CreDist



SCSK
CSK WinTechnology Corporation

SHANON
for Successful Business.



SOLXYZ
株式会社ソルクシーズ

Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.
We Secure the Internet.

TAC
Tec Accounting & Consulting LTD.

d-worx

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

TREND MICRO

ca

ORACLE'

SafeNet

NEC

Microsoft

deskNET'S

bmcsoftware

V-CUBE

Mining Brownie, Inc.

RIGHT SCALE

riverbed

redhat.

WORKS
APPLICATIONS



Psystems



これまでの技術がそのまま使える移行性

オペレーティングシステム



言語 & ライブラリ



ソフトウェア



BYOL (Bring Your Own License) : 多彩な商用アプリケーションを持込み可能

BYOL


主要な アプリケーション

ライセンスの 持込み

1時間単位での 従量課金



SAP Business Suite / A1
SAP Business Objects
SAP HANA One



Microsoft SharePoint Server
Microsoft Server and Tools
Microsoft Windows Server Apps



IBM DB2 and Informix
IBM WebSphere
IBM Lotus, Tivoli, etc.



RedHat Enterprise Linux
JBoss
Gluster



Interstage
SystemWalker



Oracle Applications
Oracle Fusion Middleware
Oracle DB 11g



※詳細は各社のライセンスピリシーに基づく

国内外の多くのクラウドサービスの プラットフォームとしても稼働



顧客はAWS上で何を動かしているか？



全社 & 部門
アプリケーション

Oracle, SAP, Microsoft, Dassault
顧客の業務アプリケーション



コンシューマー &
ウェブアプリケーション

E-コマース
ウェブサイト
ゲーム
ファイル同期 & 共有サービス



HPC & ビッグデータ

コンシューマー向けWebサイトのログ解析
ゲノム配列解析
大規模バッチプロセス



バックアップ &
ディザスタリカバリー

オンプレミスデータのバックアップ
テープの代わりにアーカイブに利用
ディザスタリカバリー

2003年当時、年商約5200億円の
企業であったAmazon.comが
必要だったITリソース



AWSに毎日追加



**利用顧客の多様性
＝ 高い稼働率（利用率）を実現**



**コスト（利用料金）の
更なる低減を実現**

小売のDNA：更なる低価格へのこだわり

規模の拡大とイノベーション… … コストダウンを促進



New World of IT ~クラウドがもたらすもの~

- 固定費から変動費への転換
 - 利用分だけの支払い
- ビジネスに合わせたリソースの調達
 - ピーク時に合わせた調達は不要
 - ピークに対するリスクを低減
- 差を生まないインフラ構築 / 保守から、顧客へのフォーカスや会社成長へIT予算をシフト
- 戦略的なITの利用を促進

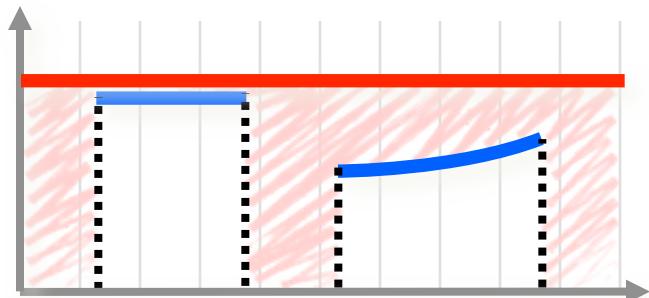
コスト構造：
従量課金
(pay as you go)

これまでの課題：
ピーク設計に合わせ、
常に余剰インフラを所有

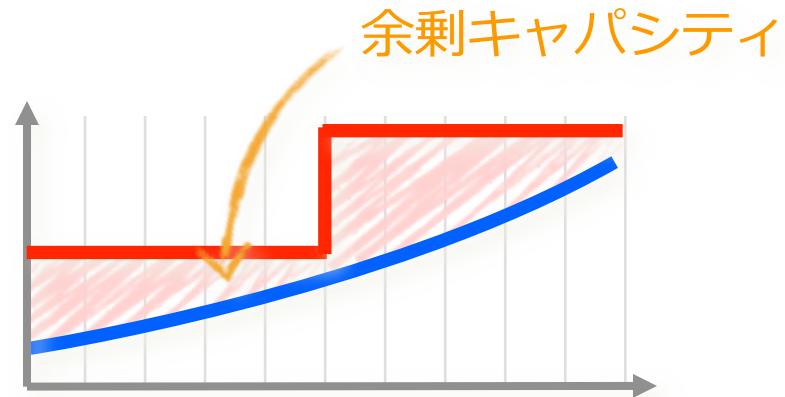


AWSクラウドで：
従量課金でコスト構造を変革

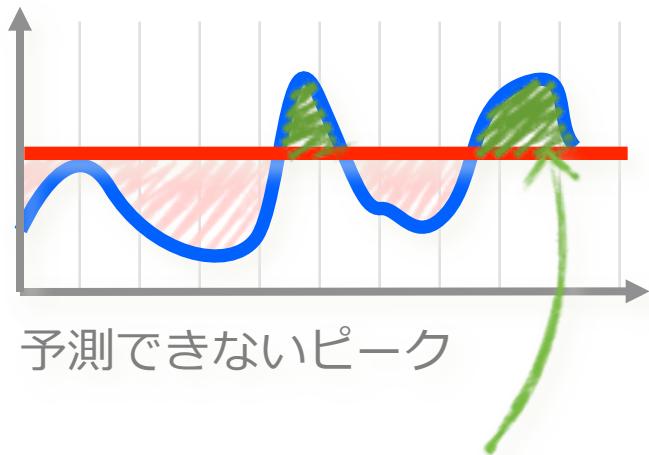
Elastic capacity



オンとオフ

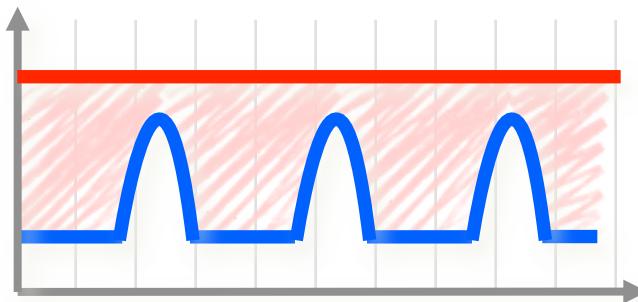


急成長



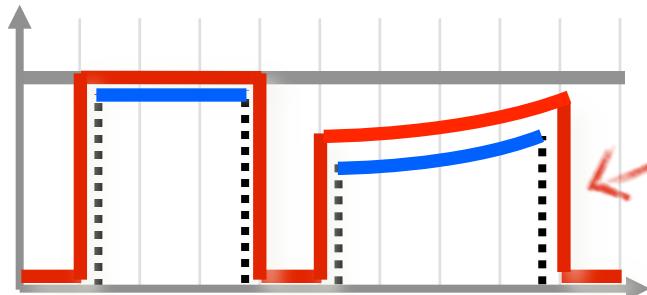
予測できないピーク

機会損失



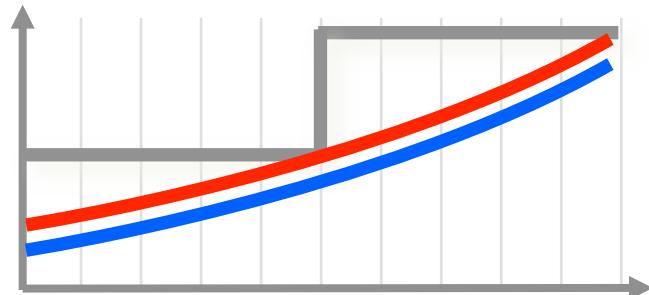
予測可能なピーク

Elastic capacity

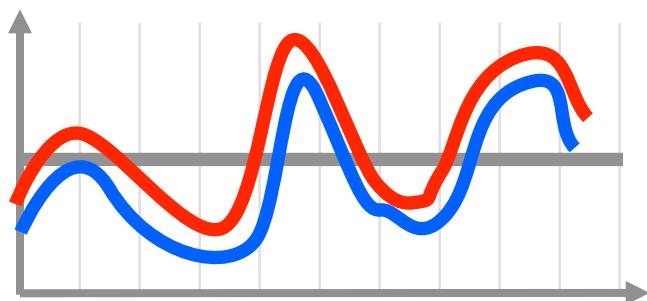


オンとオフ

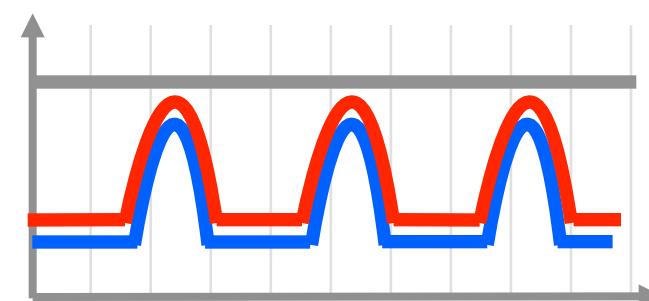
柔軟性のあるクラウドキャパシティ



急成長



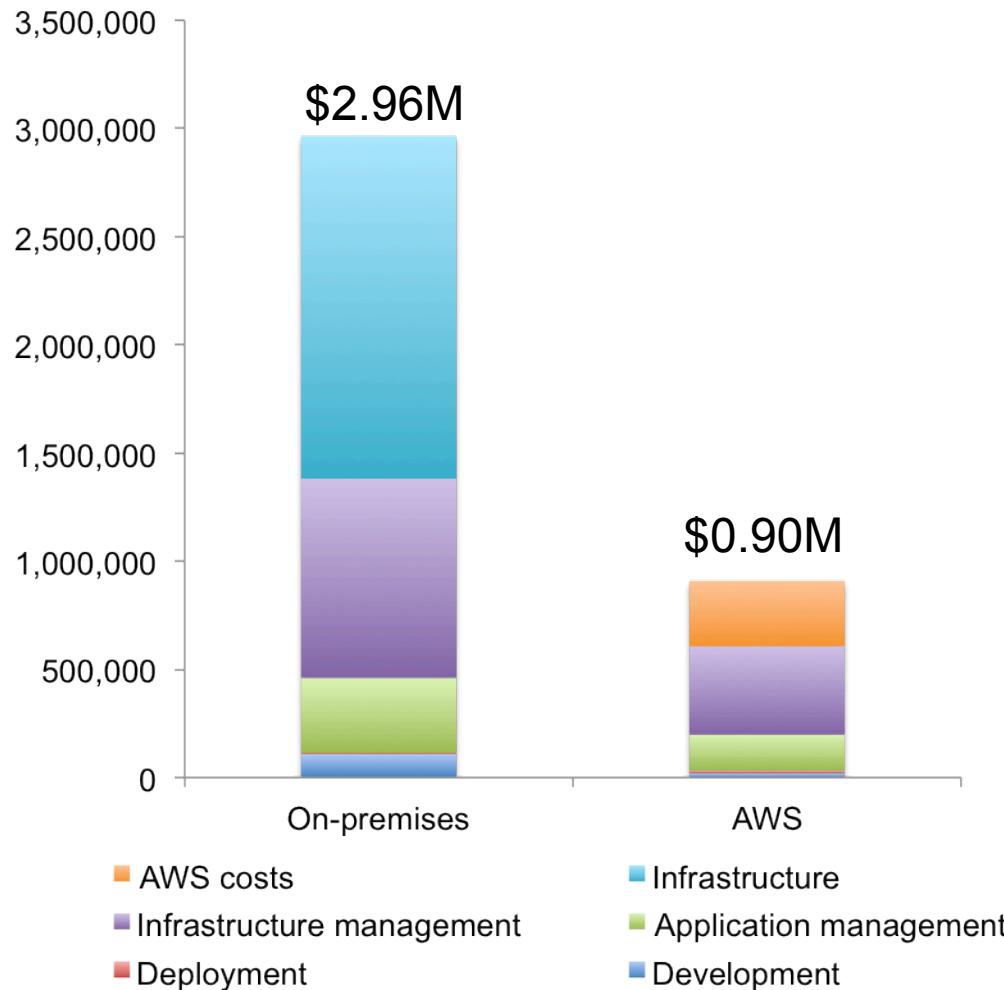
予測できないピーク



予測可能なピーク

IDCによるAWSのROIの調査

5年間で 70%のコスト削減



開発、展開コストは85%削減

アプリケーションの管理コスト
は52%削減

インフラのサポートコストは
56%削減

AWSを導入された企業様のご意見

コスト面のメリットも大きいが、
リリースまでのスピードや柔軟性
に、よりメリットを感じる

AWSは
自社のセキュリティ要件
を最も満たしている



AWSを導入された企業様のご意見



ECサイトに続き、SAP ERPの環境をAWS上に構築・稼働

導入にあたって初期導入費と5年間の運用費の合計額で比較を行った結果、AWS利用の場合、**オンプレミスと比べて65%削減**することができました。



スマートを、たのしもう。

iPadを使った営業システムのバックエンドをAWS上に展開

コスト削減効果として、現在使用をしているシステムを、今まで通りのオンプレミス型で導入した場合の**ランニングコスト**（約500万円／年）と比較をして、**約3割のコスト削減**となり360万円／年で運用することができるようになりました。



IDEA Consulting Inc.

業務アプリケーションをAWS上で利用中

従来通りのデータセンターとAWSの導入後の比較で**50%コストが削減**されることがわかりました。また、AWSの利用前はJDEのシステム導入期間が平均9か月必要でしたが、AWSの導入により、**6か月に短縮**することができました。



スピード： 物理 vs. 仮想

これまでの課題：
固定資産、返却不可、納入時間等の
ハード導入の物理的制約

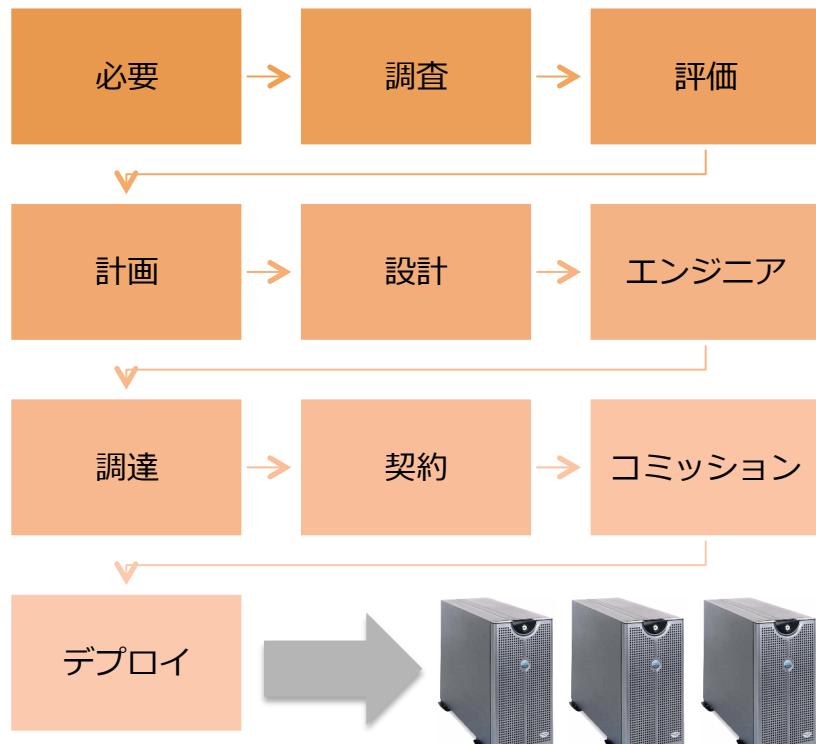


AWSクラウドで：
物理的制約からの解放

調達・デプロイのスピードにおける クラウドの圧倒的なアドバンテージ

オンプレミス

新しいインフラの構築は複雑
かつ遅くなりがち



クラウド

ワンクリックで新しい
インフラを用意



新しいデプロイ環境



新しいテスト環境



新しい環境を日本に追加



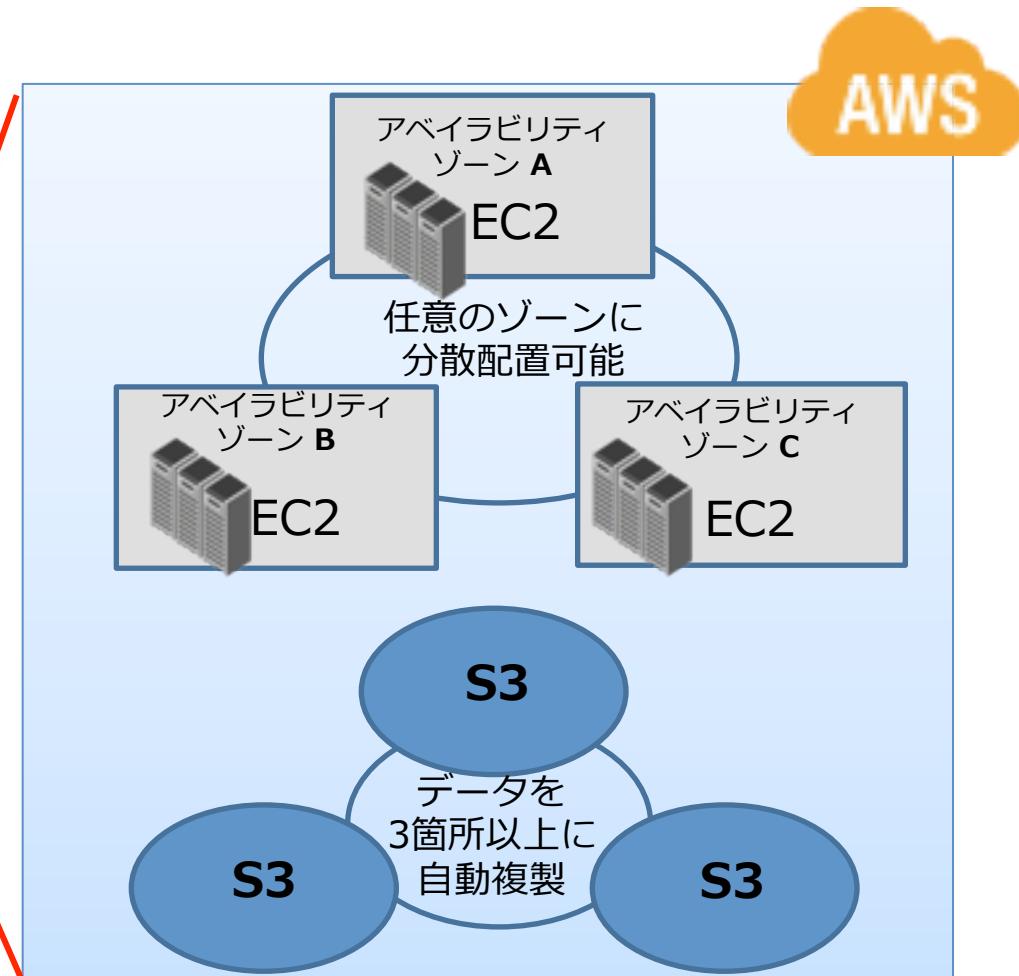
1,000 サーバ追加



1,000 サーバ削除

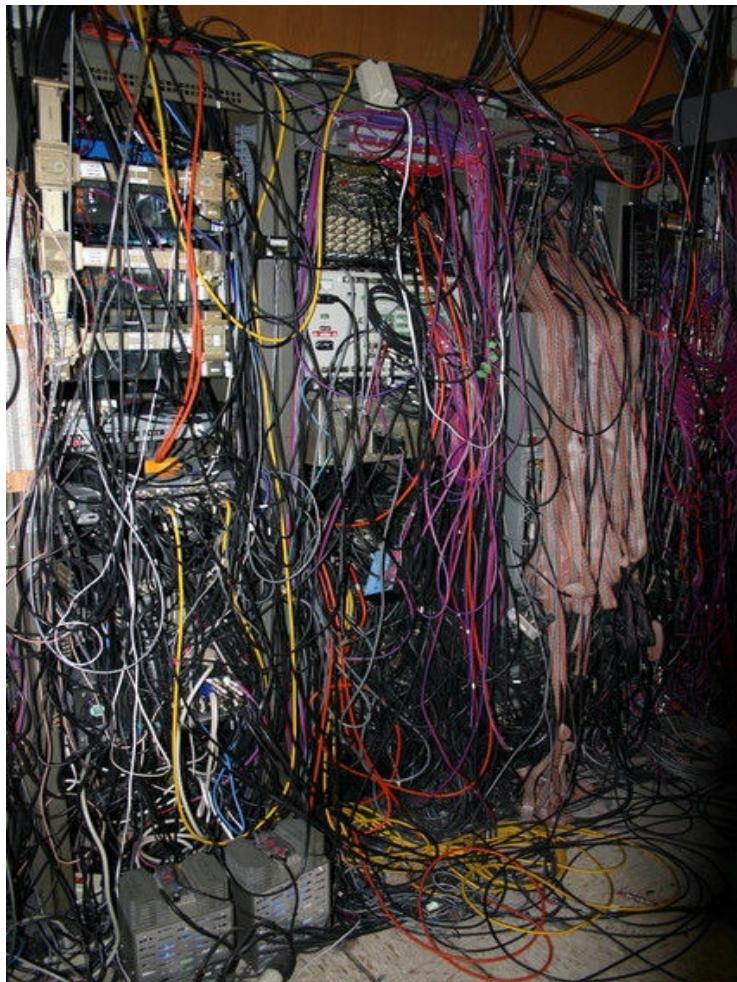
Source: PTS Data Center Solutions

クリック一つで複数DCを選択可能



サーバもデータも、国内の複数のデータセンターで冗長性を確保

どちらが早い？



VS.

A screenshot of the AWS Management Console in Mozilla Firefox. The URL is https://console.aws.amazon.com/ec2/home?region=ap-northeast-1#selectInstance&launchAmi=&. The window title is "AWS Management Console - Mozilla Firefox". The tab bar shows "AWS Management Console" and "Amazon EC2". The main content area is titled "My Instances" and displays two stopped t1.micro instances named "empty". The table columns include Name, Instance, AMI ID, Root Device, Type, State, Security Groups, Key Pair Name, Monitoring, and Virtualization. The status for both instances is "stopped". A message at the bottom says "No EC2 Instances selected. Select an instance above". The navigation sidebar on the left includes links for EC2 Dashboard, Scheduled Events, Instances, Spot Requests, Reserved Instances, Images, AMIs, Bundle Tasks, Elastic Block Store, Volumes, Snapshots, Network & Security, Security Groups, Elastic IPs, Placement Groups, Load Balancers, and Key Pairs.

[Start](#)

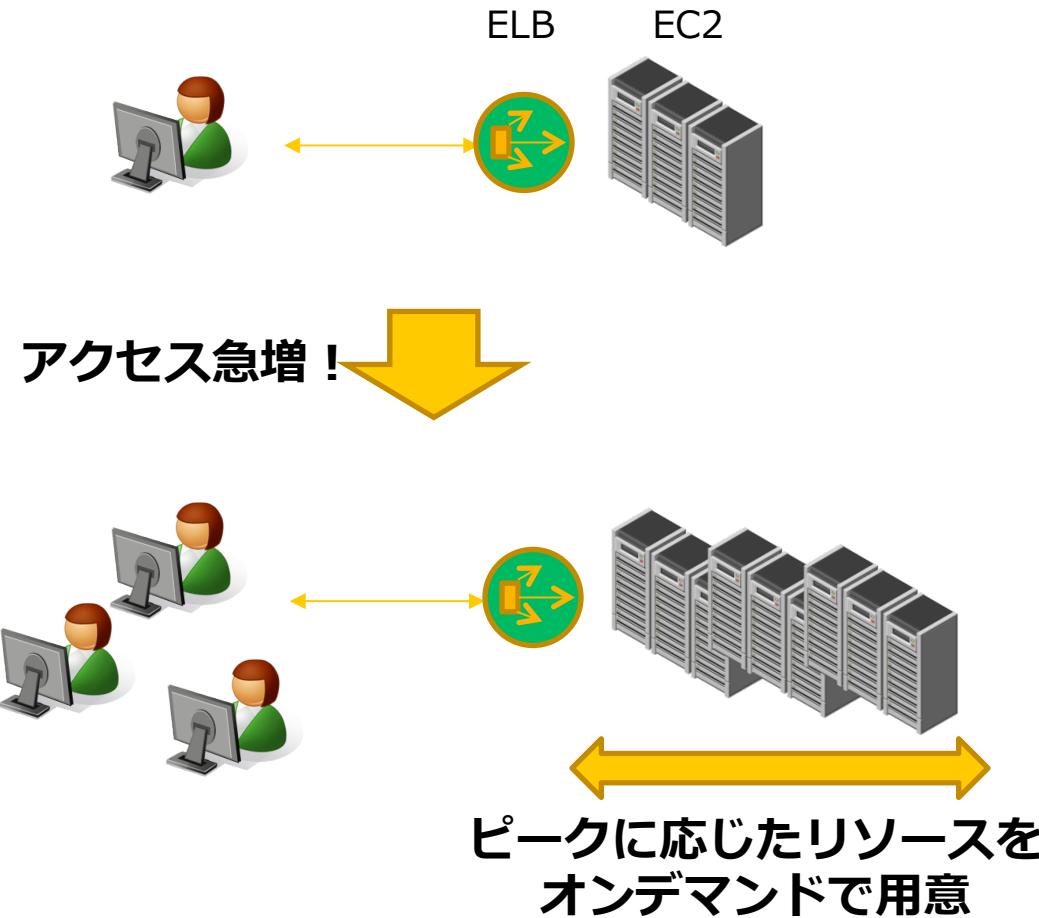
これまでの課題：
ピーク対応やシステム可用性向上は
コスト増に直結



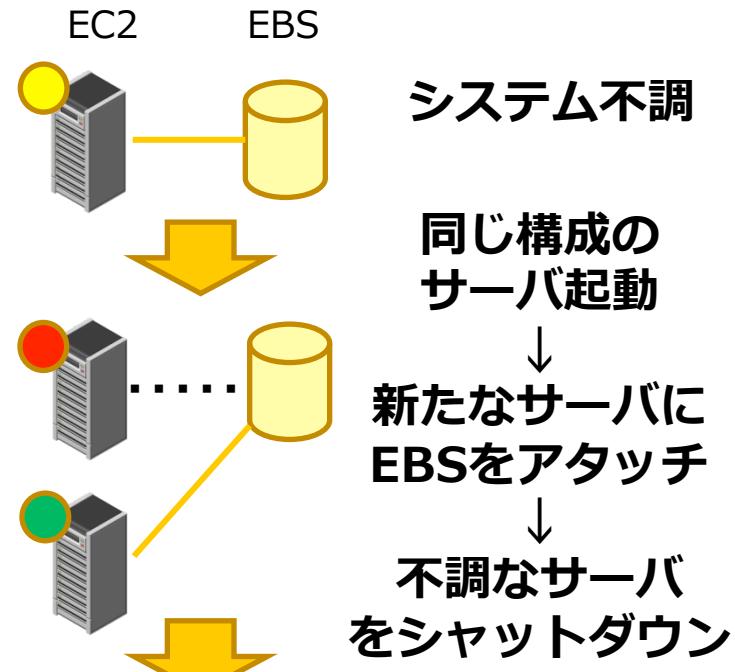
AWSクラウドで：
二重投資、余剰機器のコストを
排除し、耐障害性を向上

「変化」への対応力

ピーク対応



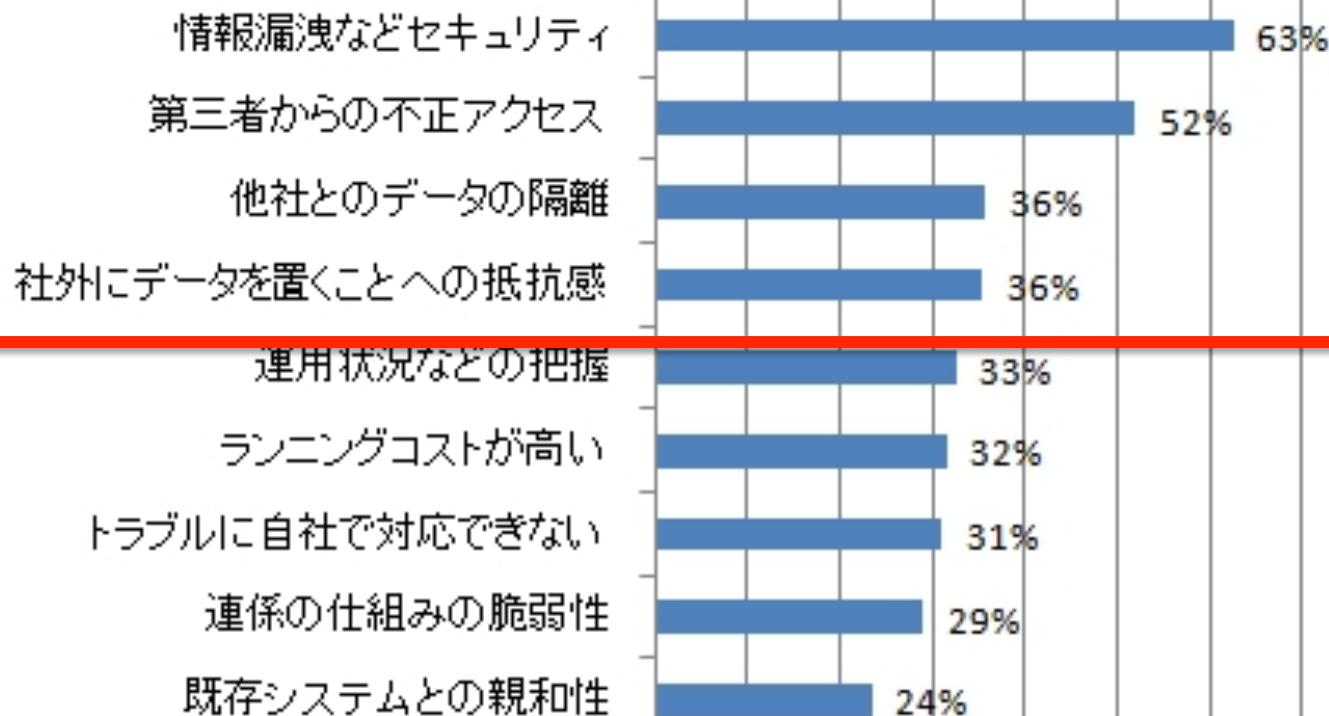
システムリカバリ



全てのサーバに「予備機」があるのと
同じ状況を提供

「でもクラウドって…」
蔓延する都市伝説

一般にみられる懸念事項



出展：TechTarget

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

クラウド導入の懸念：上位 4 位までがセキュリティ絡み



実際は？

AWSクラウドの利用で、
セキュリティ向上が
可能



AWSのセキュリティ方針



- AWSにおける**最優先事項**
- セキュリティに対する継続的な投資
 - ・ セキュリティ専門部隊の設置
- 複数の第三者認証を取得
- セキュリティ関連ホワイトペーパーの公開

AWSの利用でセキュリティレベルが
向上したと高評価

NEWS

CIA technology chief says cloud is more secure than traditional approaches

Warwick Ashford

Friday 21 October 2011 18:42



Warwick Ashford

Warwick Ashford is chief reporter at Computer Weekly. He joined the CW team in June 2007 and is focused on IT security, business continuity, IT law and issues relating to regulation, compliance and governance. Before joining CW, he spent four years working in various roles including technology editor for ITWeb, an IT news publisher based in Johannesburg, South Africa. In addition to news and



CIAの技術主任が「クラウドは既存のアプローチよりもセキュアである」と発言

NASAも認める高いセキュリティ

NASA JPLの担当者も注目する「意外な」機能とは：

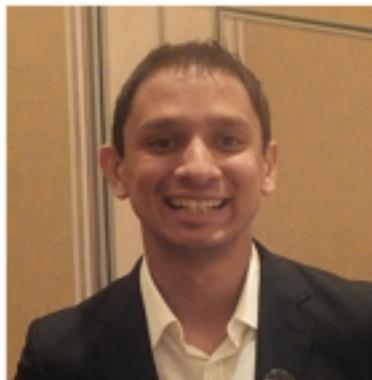
「AWSで、社内DCよりセキュリティを高められる」理由

セキュリティについての懸念から、IaaSの採用に二の足を踏む企業や組織が多い。だが、NASA ジェット推進研究所（JPL）のシニア・ソリューション・アーキテクトであるカワジャ・シャムズ氏は、「クラウド（この場合AWSのサービスを意味している）ではさまざまな理由で、われわれの組織内のインフラよりもはるかに高いセキュリティを保てるようになる」と語っている。



【三木 泉, @IT】
（この場合AWSのサービスを

意味している）ではさまざまな理由で、われわれの組織内のインフラよりもはるかに高いセキュリティを保てるようになる」と語った。



NASA JPLのシニア・ソリューション・アーキテクトであるカワジャ・シャムズ氏

クラウドサービスのセキュリティというと、事業者のデータセンター施設への物理的な出入りの制限や、セキュリティの専門知識を備えた人がどれだけ働いているかといった話に偏りがちだ。だが、シャムズ氏が「組織内のインフラよりもはるかに高いセキュリティ」実現のために不可欠な要素として挙げたのは、AWSが提供する、「Amazon VPC」と「AWS Identity and Access Management (AWS IAM)」の2つの機能だ。

Amazon VPCは、AWSのパブリッククラウドサービスのなかに、特定ユーザー企業／組織のための専

<http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1301/24/news087.html>



AWS Security Center

(<http://aws.amazon.com/security/>)

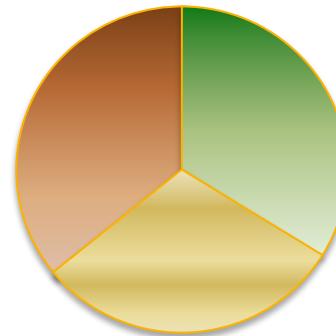
- セキュリティホワイトペーパー
 - セキュリティとプライバシーの回答
 - 半年に1度アップデート
- セキュリティ速報
- 顧客によるペネトレーションテストのポリシー
- セキュリティベストプラクティス
- AWS Identity & Access Management (AWS IAM)
- AWS Multi-Factor Authentication (AWS MFA)



AWSにおけるクラウドセキュリティ概要

認定 & 認証評価

- SOX法
- ISO 27001 認定
- PCI DSS Level I 認定
- HIPAA 準拠アーキテクチャ
- SOC 1/SSAE 16/ISAE 3402/SOC 2
- FISMA Low ATO
 - FISMA Moderate ATO 申請中
 - DIACAP MAC II Sensitive 申請中
 - FedRAMP
- サービスヘルスダッシュボード



セキュリティ責任共有モデル

- Customer/SI Partner/ISV がゲストOS レベルのセキュリティを制御(パッチ運用や運用管理含む)
- パスワード管理やロールベースのアクセス権管理を含むアプリケーションレベル のセキュリティ
- 侵入検知/回避システムを含むホストベー スのファイアウォール
- データの暗号化/複合化. ハードウェアセ キュリティモジュール
- アクセス権の分離

物理セキュリティ

- 複数レベル、複数要素による制御されて いるアクセス環境
- 管理され必要性に応じたAWS従業員によ るアクセス(必要最小限)

管理者層による管理者権限アクセス

- 管理ホストへの多要素認証で、管理され 必要性に応じたアクセス
- 全てのアクセスのログ収集、監視、そし てレビュー
- AWS管理者は顧客VMの中、アプリケー ションとそのデータなどにはアクセスす る権限をもたない

VMセキュリティ

- Amazonアカウントへの多要素認証によ るアクセス
- インスタンスの隔離
 - ハイパバイザレベルでの顧客に よるファイアウォールの制御
 - 隣にあるインスタンスへのアク セスは許可されていない
 - 仮想ディスクの管理レイヤがア カウントのオーナだけがスト レージ(EBS)にアクセスすること を保証する
- APIコールの暗号化のためのエンドポイン トのSSLサポート

ネットワークセキュリティ

- セキュリティグループ設定によるインス タンス毎のファイアウォール設定が可能
- トラフィックはプロトコル、サービス ポート、ソースIPによって制限できる (個別IPまたはindividual IP or Classless Inter-Domain Routing (CIDR)プロッ ク).
- Virtual Private Cloud (VPC) により、 既存エンタープライズデータセンターと 論理的に隔離された複数のAWSリソース との間にIPSec VPNでアクセス可能

2011/11/13 update

レポート、認定、第三者認証

■ AWSは以下のような第三者認証を取得済み

- SSAE 16/ISAE 3402基準、SOC1レポート（旧SAS70）
- SOC2レポート、SOC3レポート
- ISO 27001 Certification
- PCI DSS Level 1
- FISMA moderate
- Sarbanes-Oxley (SOX)
- FedRAMP



■ AWSにシステムをデプロイし、第三者認証を取得することも可能

- HIPAA (医療関係)
- Pマーク
- ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度

責任共有モデル



- OS
- アプリケーション
- セキュリティグループ
- OSファイアウォール
- ネットワーク設定
- アカウント管理

AWS

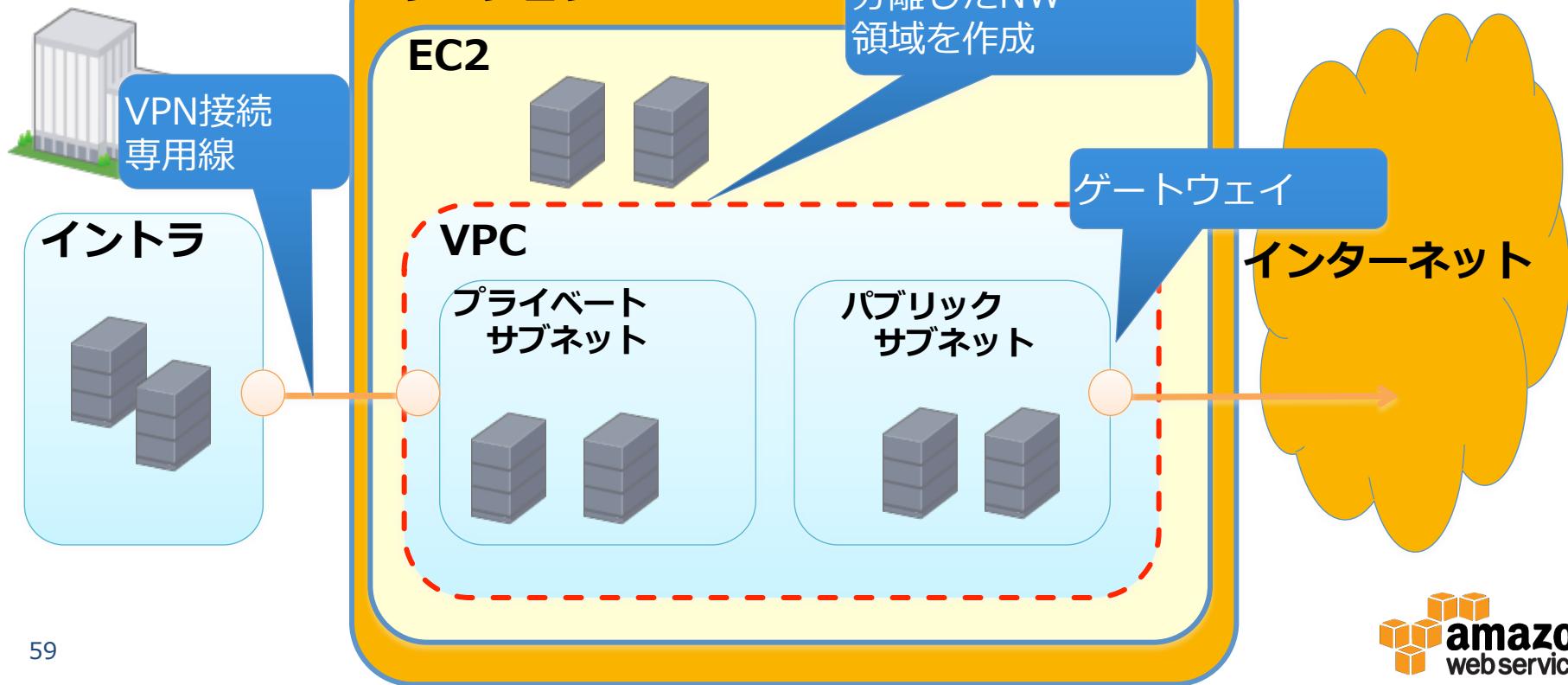
- ファシリティ
- 物理セキュリティ
- 物理インフラ

今までのセキュリティ
ポリシーを実装できる



クラウドに自社DCを拡張できる Amazon VPC = “Virtual” Private Cloud

- クラウド内にプライベートネットワークを構築
- 既存DCの延長/拠点としてAWSを利用
- 顧客情報はオンプレ、WebサーバはAWSなどの構成が可能



重要なポイント

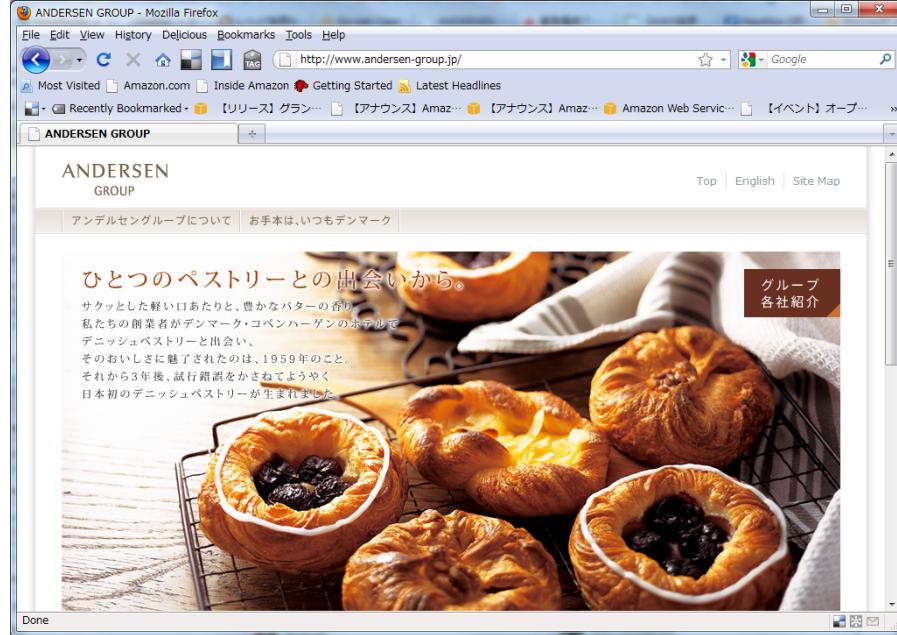
- 堅牢な物理ファシリティの構築・運用
- 多くの第三者認証の取得費用・維持
- セキュリティに関する情報の収集作業
- インフラ部分の脆弱性や脅威に対する対応
- インシデント発生時の対応体制の構築



すべて費用に含まれています

多数の事例

アンデルセングループ

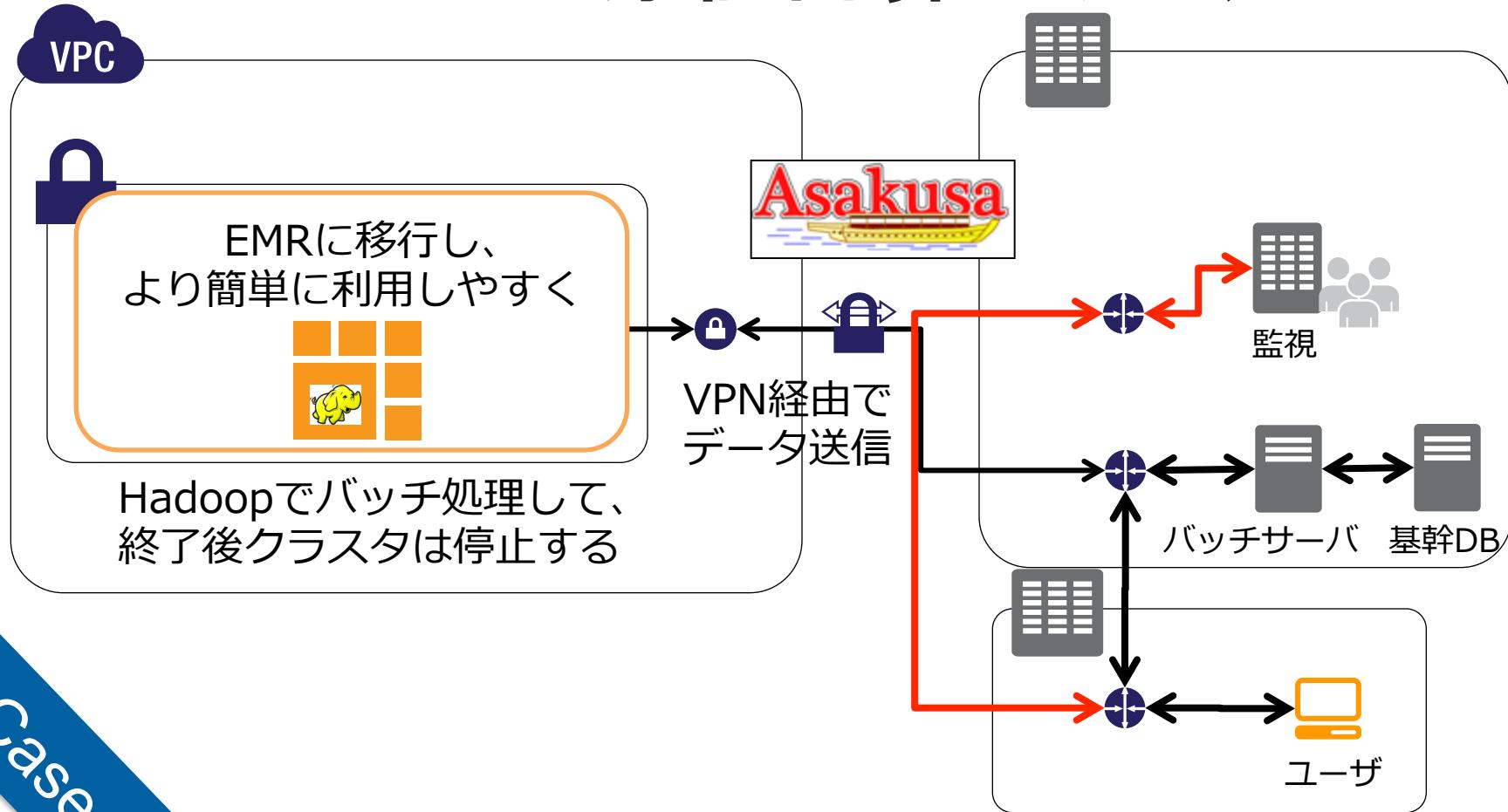


- 全国500店近い直営/FC店舗、10工場を中心としたホールセール事業を展開
- 原価計算バッチシステムの再構築に際し、処理時間の短縮のためHadoop採用。
- 新システムはAmazon VPCを利用し、Amazon EMR上で稼働。従来4時間の計算が20分に短縮

“Amazon VPCは、今回のお客様の基幹システムのクラウドでの開発・利用開始を安全かつスピーディーに行う事に大きく貢献しています。”

ノーチラステクノロジーズ（アンデルセン様SI） 副社長 神林 飛志 様

ソリューション: VPC上での原価計算バッチ処理



Case Study

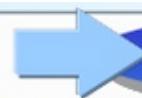


- 繁忙期時の計算リソース対策としてAWSを採用
- VPC+VPNにてセキュアな環境を用意



【SCSKの提供】

- ①統合サポート窓口
- ②請求書支払い
- ③独自課金の仕組み
- ④環境構築



Amazon Web Services活用

Amazon web Services ~通常スペックVMから、GPGPUノードまで提供。



Amazon Elastic
Compute Cloud
(EC2)



Amazon Elastic
Compute Cloud
(EC2)



Amazon Elastic
Compute Cloud
(EC2)



Amazon Simple
Storage Service
(S3)

- Amazon EC2 スモール, ラージ, エクストララージインスタンス
- Amazon EC2 クラスタGPUインスタンス
- Amazon S3

利用料に関しては上限金額設定

[http://www.slideshare.net/AmazonWebServicesJapan/
2012aws-hpcscsk-13526762](http://www.slideshare.net/AmazonWebServicesJapan/2012aws-hpcscsk-13526762)

Case Study



三井住友海上火災保険様 あいおいニッセイ同和損害保険様

- システム開発のプロジェクト管理環境としてAWSを採用
 - ・ プロジェクト管理ツール「Redmine」をカスタマイズし、「PrimeCloud for Developers」としてSCSK株式会社が提供
- 数千人のプロジェクト関係者が利用
- セキュリティ基準を満たすため、「金融機関向け『Amazon Web Services』対応セキュリティリファレンス」を活用
- セキュアな遠隔地間のプロジェクト環境をスピーディかつ安価に構築

Case Study



※AWS Summit2012発表資料より抜粋



エンタープライズソーシャルコミュニケーションツール 『youRoom』を採用

- ・ 初期展開 4,000人、世界6拠点が利用
- ・ パブリッククラウドの耐障害性が決め手
 - ・ 迅速なスケールアップ/アウト
 - ・ どこからでもアクセス可能

IaaS基盤としてAWSを採用

- ・ 銀行標準セキュリティへの準拠
- ・ 各種第三者認証の評価



東京証券取引所様

開発・検証環境の改善の一環として、AWSを採用

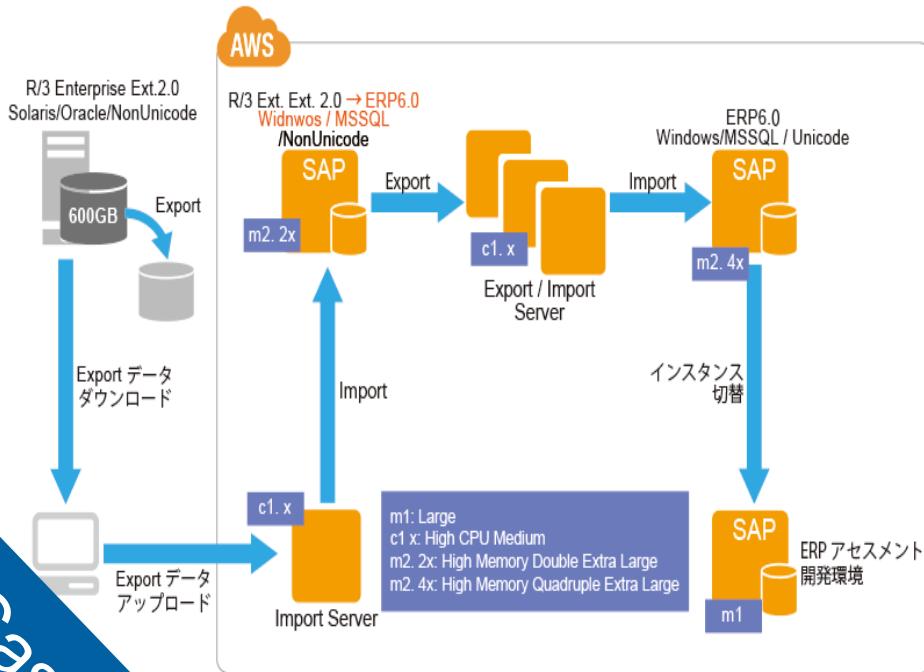
- 物理環境の構築に、膨大なコストをかけていたうえ、調達や設置にも時間がかかっていた

AWS採用による効果

- 開発・検証環境の構築が10分の1のコストで実現し、調達速度も大幅に改善
- 物理的な固定資産を持たないことで、財務上も改善

アンリツ株式会社様

SAPのマイグレーションにAWSをプラットフォームとして採用



- 移行作業を10か月から6か月に短縮
- プロジェクト全体の品質も向上
- プロジェクトにおける費用対効果が改善

Case Study

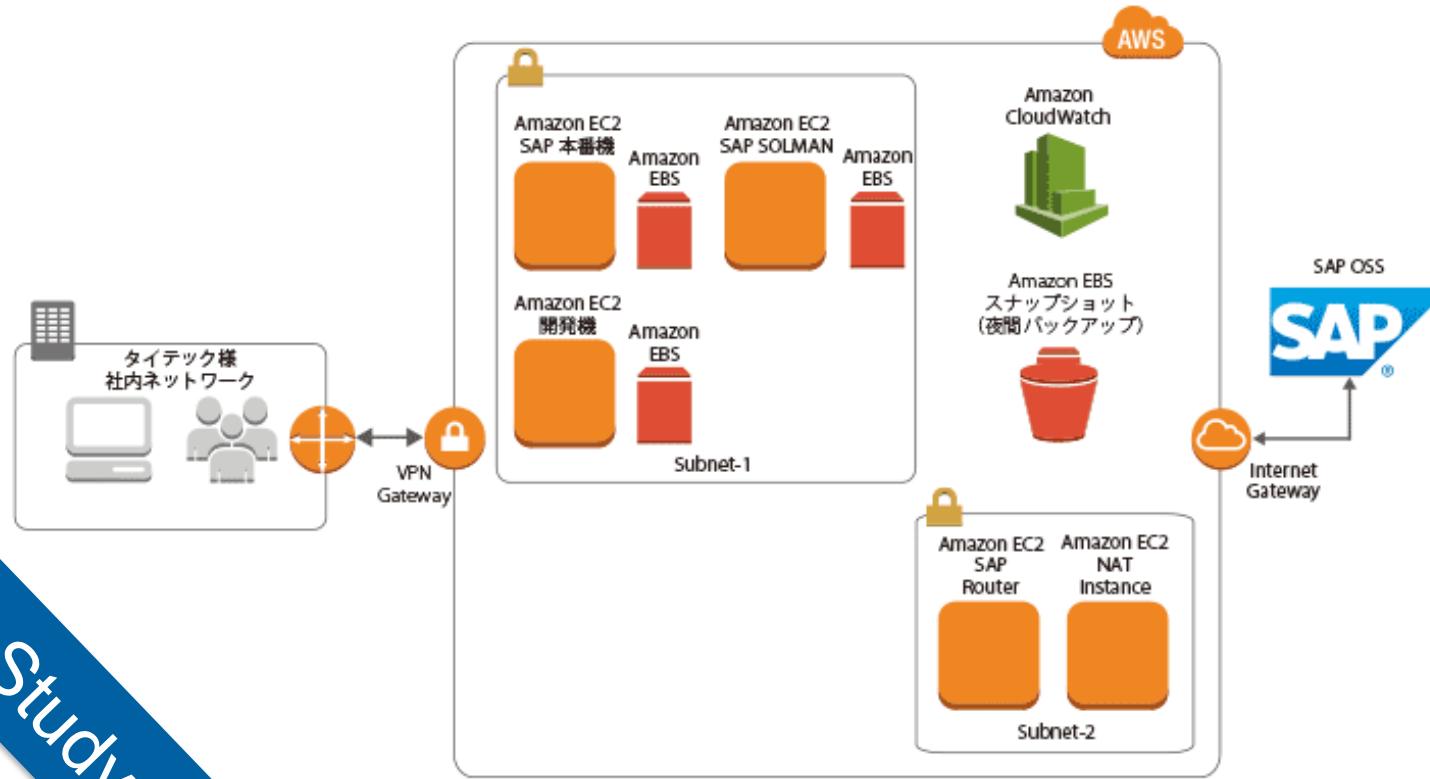


株式会社 クニエ



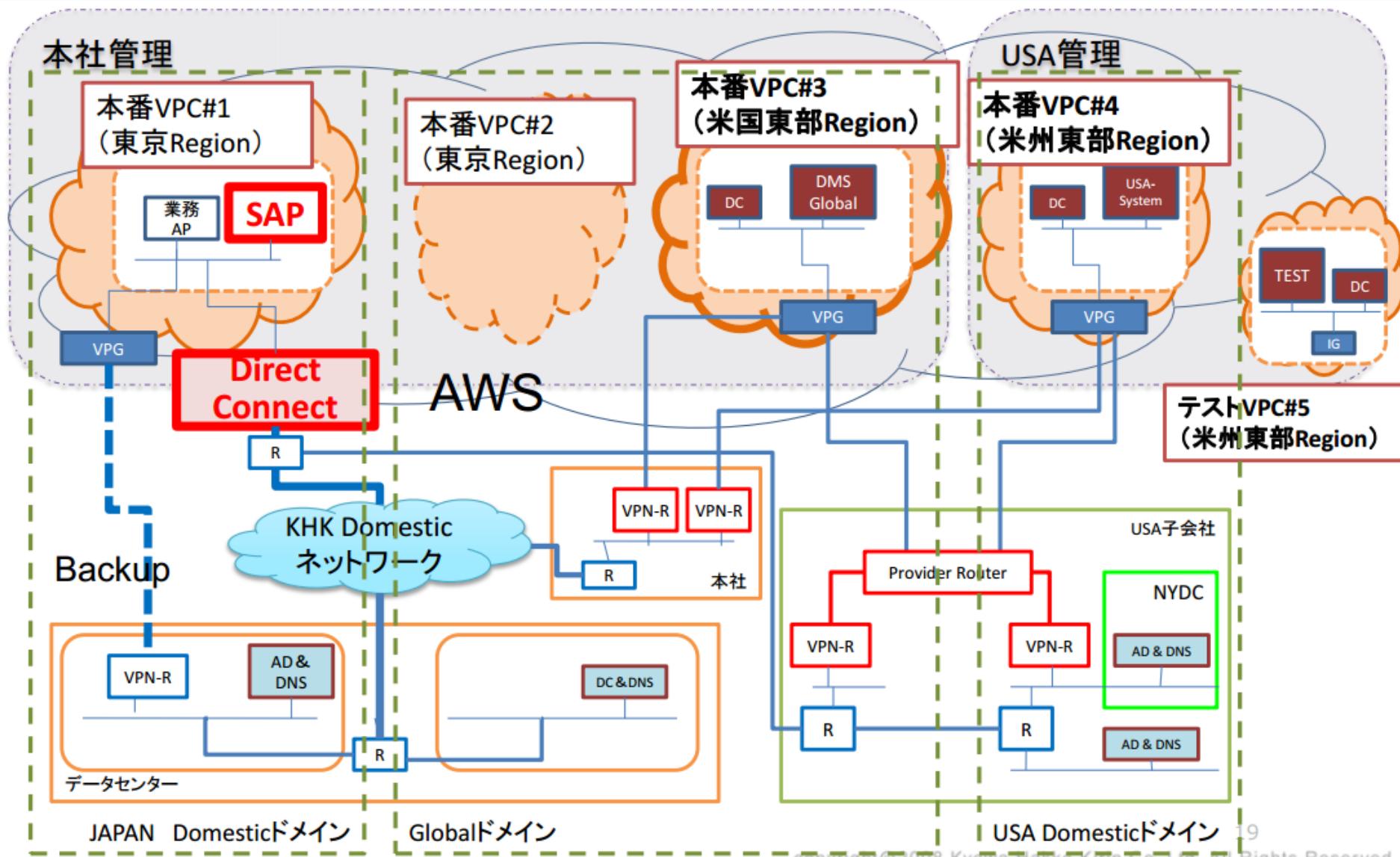
タイテック様事例

- SAP ERPをAWSに移行
- 今後のインフラリプレース、トラブル対応の負荷低減
- 計画から本番運用開始まで6ヶ月
- 60%以上のコスト削減



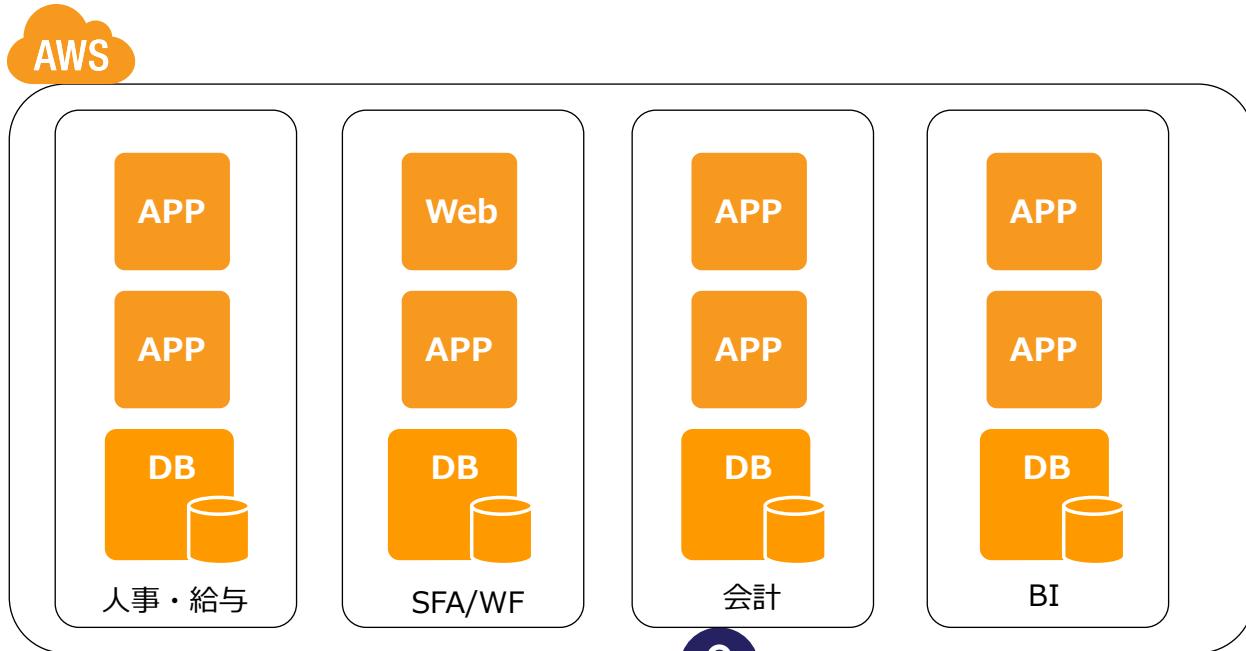
■ システム概念図(2013年12月)

KYOWA KIRIN

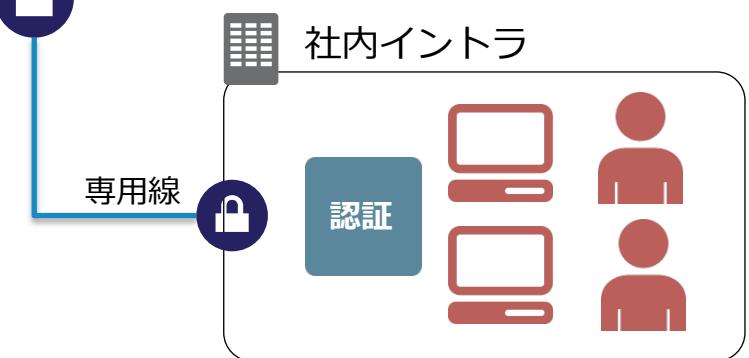


copyright ©2008 Kyowa Hakko Kirin Co.,Ltd. All Rights Reserved 19

日本の大手メーカー様



- 社内業務システムをAWSへ移行
- AWSへ専用線で接続
- 導入コスト、メンテナンスコスト、安全性、老朽化対応などのメリット



Case Study

東芝メディカル様

医療クラウド基盤としてAWSを採用

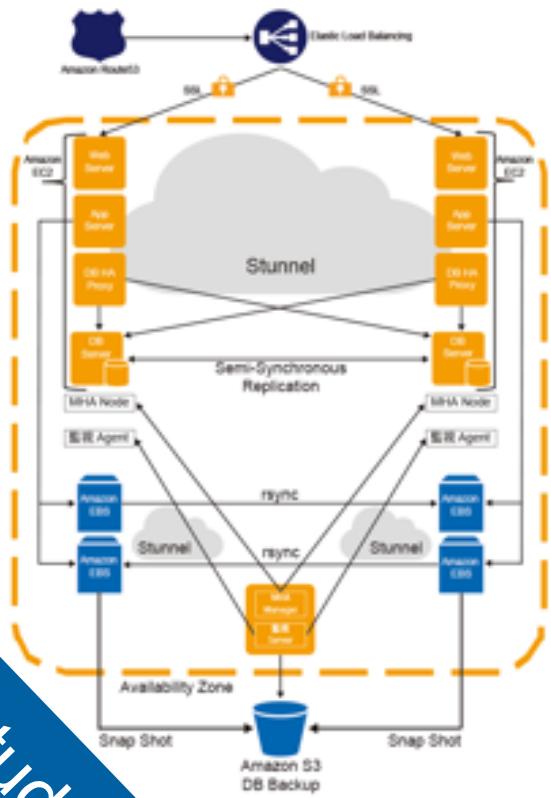


- 多くの個人情報を含む、カルテ、CT画像などの医療情報をクラウドに格納
- データは暗号化して保管
- コストの削減、運用管理費用の削減、災害対策を実現

Case Study

株式会社電通様

電通グループ内の「大容量ファイル交換サービス」の基盤としてAWSを採用

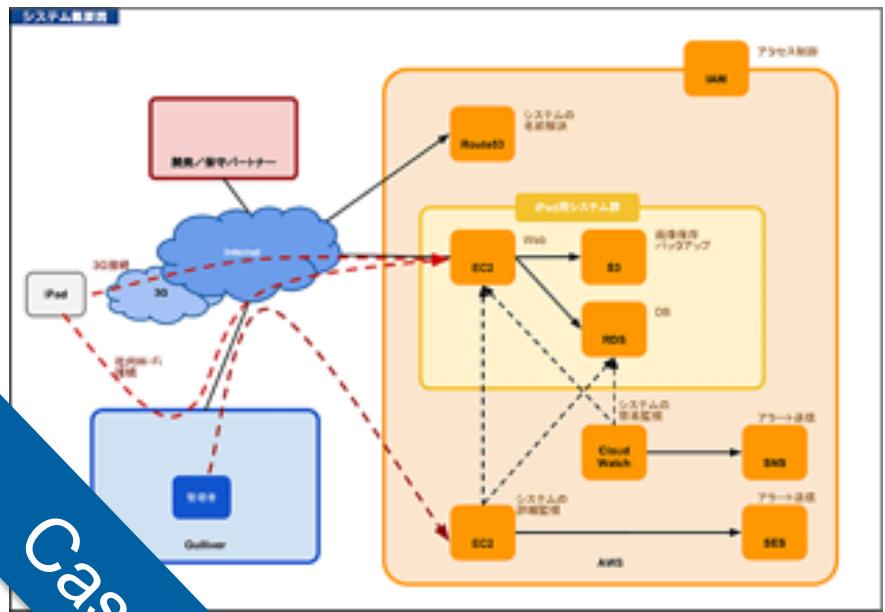


- 2GBまでの大量量ファイルの送受信
- データの暗号化、ウィルススキャン、多言語対応、監査ログ、SSO対応など、エンタープライズ業務で必要とされる様々な機能を実装
- 2012年4月から、電通グループ70社、2万人以上を対象に利用中

Case Study

株式会社ガリバーインターナショナル様

- iPadを利用した営業支援ツールのシステムインフラとしてAWSを採用



Case Study

- 全国のガリバー営業担当が日常的に利用する、買取、販売、顧客管理などのiPad用アプリシステムインフラとして利用
- オンプレミス環境でのランニングコストと比べ約3割のコスト削減を実現
- 経営スピードの向上と、無駄な資産維持、管理からの解放

花王株式会社様

■ 対外向けコーポレートウェブサイドおよびコンテンツ管理システムをすべてAWSを採用に移行



The screenshot shows a product page for 'Attack 高活性バイオEX [大]' (Attack High-Active Bio EX [Large]). It features a large image of the detergent box, product information, and a sidebar with frequently asked questions (FAQ) about laundry detergent usage.

- グローバルの花王グループのインフラを統合するためにAWSを選定
- 従来のデータセンタ利用より年間コストが80%削減
- AWS正式利用決定後、システム構築から移行まで4か月で実施
- 複数のDCを利用することで、可用性の高いシステムを実現

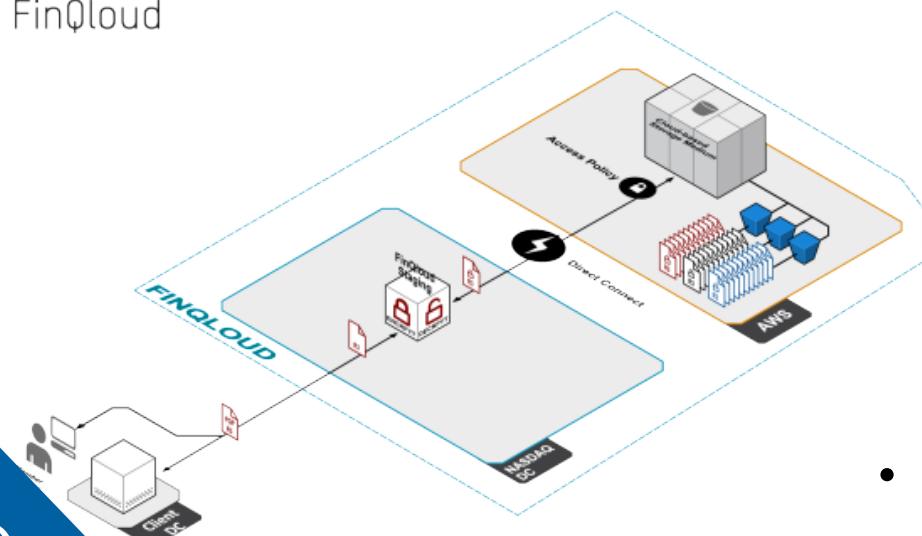
Case Study

NASDAQ OMX

金融機関向けに情報を安全に管理できる基盤 「FinQloud」をAWS上で構築

NASDAQ OMX®

FinQloud



- FinQloud上で財務データの管理、分析や検索、レポーティングなどを実行可能で、レギュレーションに関する情報の記録と、セルフレポーティング機能を提供。今後多くの機能を提供
- 利用者は高価な設備投資をせずに、コンプライアンス要求やセキュリティを満たした環境の利用が可能に

Next Step

是非お試しください

- 立方体アイコン アカウント開設ガイド

<http://www.slideshare.net/kentamagawa/3aws>

- 立方体アイコン イベントセミナー情報

http://aws.amazon.com/jp/event_schedule/

- 立方体アイコン 費用試算ツール(SIMPLE MONTHLY CALCULATOR)

http://calculator.s3.amazonaws.com/calc5.html?Ing=ja_JP

AWS 無料使用枠(12カ月)

<http://aws.amazon.com/jp/free/>

Amazon EC2 750時間/月のLinux マイクロインスタンス

- 複数インスタンスの場合も、合計750時間/月であれば無料利用枠に該当

Amazon EC2 750時間/月のWindows Server マイクロインスタンス

- 複数インスタンスの場合も、合計750時間/月であれば無料利用枠に該当

Amazon EBS

- 30 GB に加え、200万 I/O、スナップショット ストレージ 1 GB

Elastic Load Balancing

- 750時間に加え 15 GB 分のデータ処理

帯域幅「送信（アウト）」15 GB

Amazon S3 ストレージ

- 5 GBの容量、20,000 Get リクエスト、2,000 Put リクエスト

DynamoDB、SimpleDB、SWF、SQS、SNS、CloudWatch

パートナープログラム



Partner
Network

AWS Partner Network (APN)

旧来のプログラムを改変し、
2012年4月に新たに導入された
パートナープログラム

<http://aws.amazon.com/jp/solutions/solution-providers-japan/>

2013年1月時点：日本で約100社の
パートナー様が参加



2つのカテゴリー

Consulting



Technology



- コンサルティングパートナー
- プロフェッショナルサービス
- VAR(付加価値販売業者)

- ISV & アプリケーションベンダー
- セキュリティ&マネジメントベンダー
- SaaS/ PaaS
- OSベンダー

拡大する日本のパートナーエコシステム

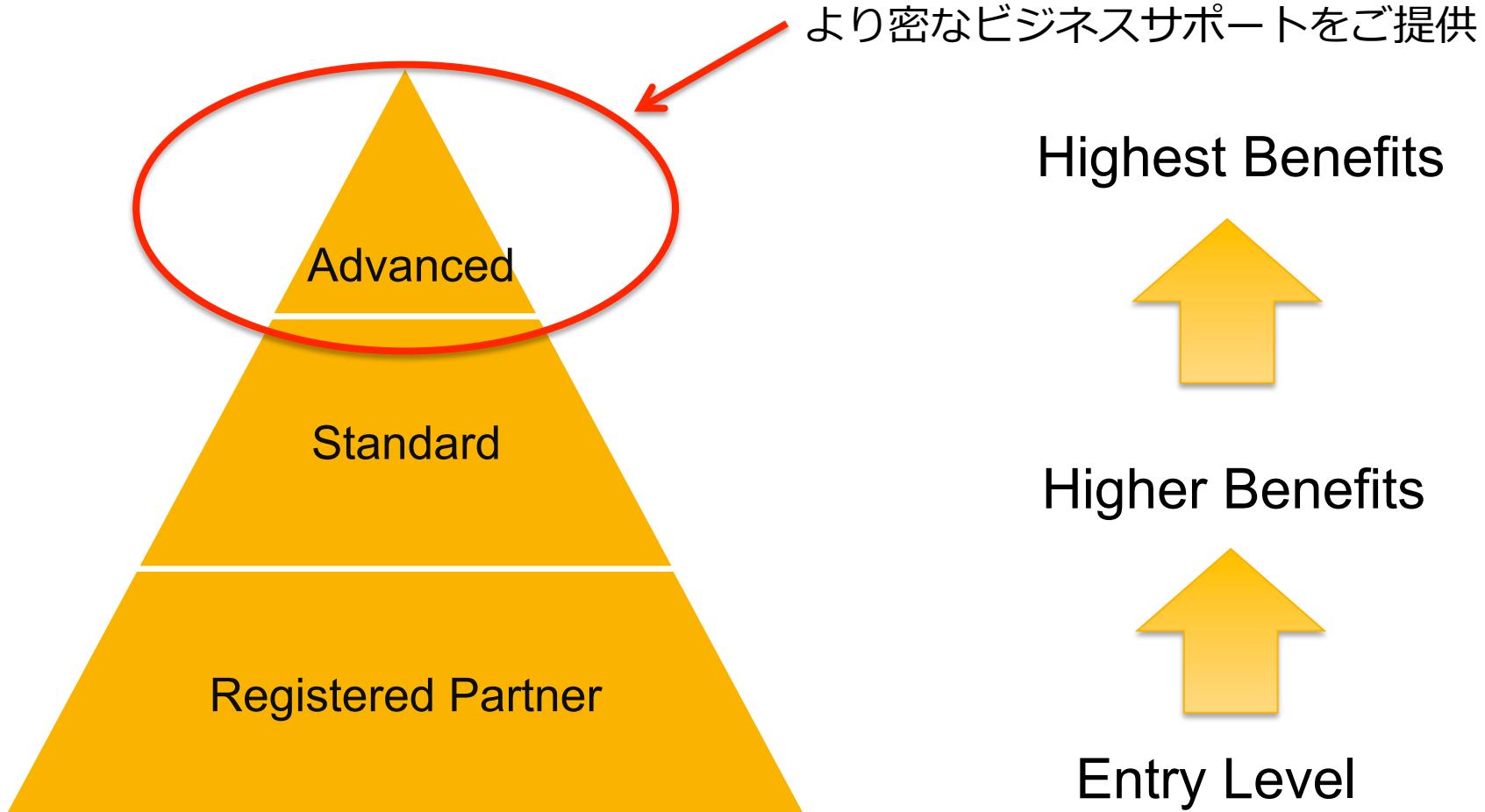
システムインテグレーター



<http://aws.amazon.com/jp/solutions/solution-providers-japan/>



3つのTier



AWS技術トレーニング

- 立方体アイコン パートナー様向けにクローズドでの技術トレーニングを提供中
- 立方体アイコン AWSを利用するまでの基礎知識を座学、ハンズオンで学習
- 立方体アイコン 有償トレーニングコース、認定試験も開設

パートナープログラムへのお問い合わせ

詳細はAWSアライアンス担当部門、
またはAWSのWebサイトよりご連絡下さい。

<http://aws.amazon.com/jp/>

The screenshot shows the AWS homepage with a success story for Kao Corporation. The headline reads "Enterprise innovation. Powered by the AWS Cloud." Below it, there's a screenshot of the Kao Group Site showing a happy family in a field, followed by a testimonial from Kao about how AWS helped them reduce costs by 80%.



AWSのクラウドサービスをご検討のお客様へ

Amazon ウェブ サービスについて

クラウド サービス無料利用枠のご案内

国内企業のクラウド導入事例

イベント・セミナーのご案内

AWSのはじめ方

ご利用前のよくあるご質問

導入・資料請求のお問い合わせ
(日本の営業窓口)

日本のAWSパートナー一覧

まとめ

SI/ISVビジネスでAWSクラウドに対応することで..

- より多くのビジネス機会を創造
- プロジェクトのアジリティを向上
= 利益率に寄与
- 構築だけでなく、運用ビジネスにも効果

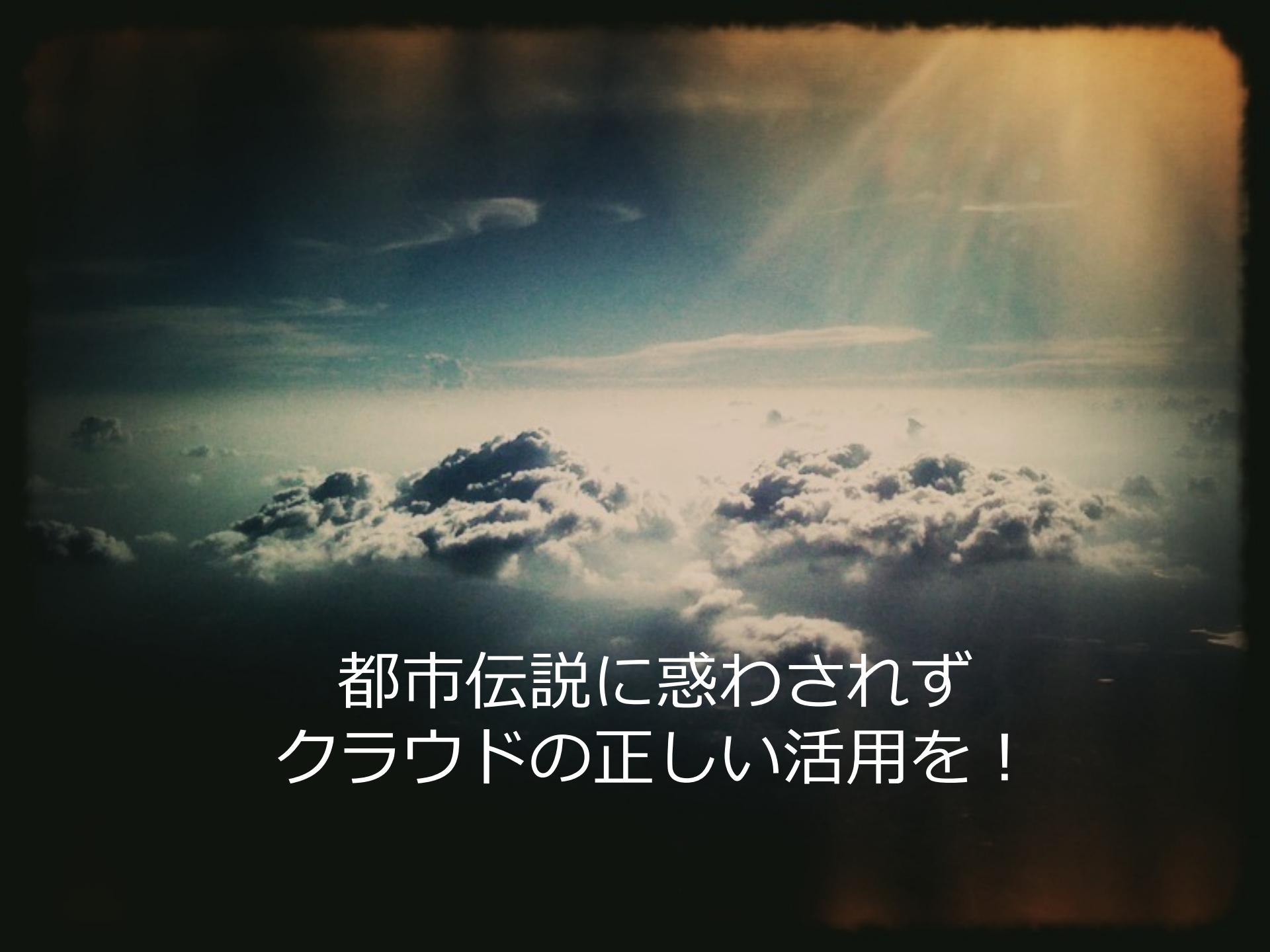
クラウド活用のツボ 改善から革新へ！

改善

今まで**できていたことを、**
より早く、簡単に、安く実現できる

革新

今まで**できなかつたことを**
実現できる



都市伝説に惑わされず
クラウドの正しい活用を！